

# 大動脈内バルーン閉塞の有効性と安全性に対する観察研究 に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 28 年 6 月 15 日～平成 29 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

大動脈内バルーン閉塞の有効性と安全性に対する観察研究

## 〔研究目的〕

大動脈内バルーン閉塞の有効性と安全性を検討します。

## 〔研究意義〕

大動脈内バルーン閉塞の有効性と安全性を検討することでより有効な閉塞方法やより安全に大動脈内バルーンを留置する方法が見つかる可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属病院にて大動脈内バルーンを留置される患者様を対象といたします。従来と同様の手技を行い、治療を施します。本研究では基本的に従来と同様の手技であり、診断能や治療効果は変わりません。留置された前後の血圧や合併症についてを検討します。研究方法は診療録から患者登録フォーマットに従って抽出し入力します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 放射線科学講座

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究にあたり、各患者の個人情報は厳重に保護されます。得られた CT 画像、血液所見、他の臨床データは連結可能匿名化として記憶媒体に保存します。記憶媒体にはパスワード設定、暗号化等を行い、セキュリティ対策を行います。

対象となる患者様で、研究への参加・ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属病院 放射線科学講座 病院教授 近藤 浩史

研究分担者：帝京大学医学部附属病院 放射線科学講座 助手 山本 敬洋

東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-4098 (代表) 内線 7876